

自然に親しみ、緑の大切さを学ぶ みどりの少年団結団式

5月24日、みどりの少年団結団式が東根小学校学校林の宝山で行われました。

今年度は、東根小学校の4年生15人が新たに入団。トレードマークである緑の帽子とネッカチーフを6年生から結んでもらいました。結団式後には、森林インストラクターと県職員の方を講師に自然体験活動が行われ、5年生の新野真経くんは「いろいろなことが勉強できた。これからは、新しく仲間に加わった4年生と一緒に、たくさん緑のことを学んでいきたい」と感想を述べました。

みどりの少年団は今後、自然に親しむことを目的としたさまざまな活動を、一年を通して行います。



↑みどりの少年団の証であるワッペン

このやさしさをいつまでも 第25回おかえりなさいコンサート

第25回おかえりなさいコンサートは5月15日、鮎貝地区コミュニティセンターで開催されました。

今年も白鷹陽光学園やこぶし一座をはじめ、特別ゲストの「いちよ・きよ・やぎりんバンド」を含む8組が歌や演奏、寸劇を披露。また、第25回目の開催を記念した抽選会も行われました。この日、初めてコンサートを見に来たという方からは「感激した。福祉に関わるこのような交流の場は大事だと思うので、これからもぜひ続けてほしい」という声がありました。



平成28年度フラワーロードパークボランティア 地域のきれいをみんなの力で

5月21日の早朝、国道287号線広野・畔藤地内においてフラワーロードパークボランティアが行われました。

ボランティア登録団体による一斉作業となった今回は、地域の企業や団体、町職員などが参加。草刈りや花の植栽、側溝のゴミ上げ作業を約1時間行いました。生い茂っていた雑草はなくなり、花壇には色とりどりの花が植えられてきれいになった沿道。地域の皆さんによるこのような活動で、白鷹町の美しさは保たれています。このボランティア作業は、今後も担当の箇所ごとに随時行われます。

